

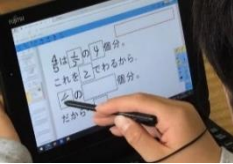

(1) ねらい

分数÷整数の計算の仕方を考える活動を通して、小数÷整数や分数×整数の時と同じようにもとにする数のいくつ分で考えれば既習の計算の仕方ですべて計算できることに気づき、単位分数に着目して計算の仕方を考え、説明することができる。

(2) 評価規準

単位分数に着目して、分数÷整数の計算の仕方を考え、説明することができる。(思考・判断・表現)

(3) 学習展開 (3/7)

過程	学習活動	指導・援助(留意点)
導入	<p>1 本時の学習内容に問題意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数÷整数の計算の仕方を振り返る。 ・0.1をもとにして整数の計算にしたことを確認する。 <p>2 問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> $\frac{4}{5}$ Lのジュースを、2人で等分します。 1人分は何Lになりますか。 </div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を見通した発表ノートにすることで、児童が必要な時に前時の学習を振り返ることができるようにする。 </div>
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・数直線図を使って立式する。 $\frac{4}{5} \div 2$ <p>3 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 分数÷整数の計算のしかたを考えよう。 </div> <p>4 個人で追究する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>①図で考える。 (図は教科書参照)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>②もとにする分数のいくつ分で考える。 $\frac{4}{5}$は $\frac{1}{5}$の4個分。 $\frac{4}{5} \div 2$は、$\frac{1}{5}$の(4÷2)個分。 $\frac{1}{5}$が2個で $\frac{2}{5}$</p> </div> </div> <p>5 全体で話し合い、課題を解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図で考えたり、もとにする分数のいくつ分で考えたりすれば計算することができる。 ・式と図を結び付けて説明する。 $\frac{4}{5} \div 2$は、$\frac{1}{5}$の(4÷2)個だから、$\frac{4 \div 2}{5}$で求めることができる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈深めの発問〉</p> <p>「なぜ、もとにする分数のいくつ分で考えるとよいのだろう？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もとにする分数のいくつ分」で考えると、分数÷整数の計算を整数÷整数の計算にして考えることができるから。 </div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算の仕方に見通しがもてない児童や式で考えることができた児童に対して、資料置き場のヒントカードを使い、計算の仕方を考えることができるようにする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画面投影の機能を使い、児童が自分のノートを見せながら話すことで、発表しやすくする。また、仲間のノートを見て、その考えを説明することができるようにする。 </div> <p>『深めの発問の工夫』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もとにする分数のいくつ分で考えることのよさを問うことで、既習の内容を基にして考えられることに気付くことができるようにする。
終末	<p>6 学習をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 分数÷整数の計算は、小数÷整数や分数×整数と同じように、もとにする分数のいくつ分かを考えて求めることができる。 </div> <p>7 本時の学習を振り返る。 練習問題をどのように解決したかをペアで説明し合う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表ノートの右上に自分の考え方のキーワードを赤で書き込む。そのキーワードを板書にも位置付けていくことで、キーワードを使いながら自分の言葉で学習のまとめができるようにする。 </div>